





新入学お祝い式

永年功労者表彰



令和五年四月十六日 清経寺門前会  
 御教誨  
 いとはすよみのりの花のさく宿は  
 雪なき風のふくもふかずも  
 小山清達 拜

大意の世の中は無常です。いざが身の上に無常の風が吹いても、燃てず御宝前を信じて、口唱修行に励むことが大切です。

いとほすよ...いやだな...という気持ちを起して退いてはいけな  
 い。  
 みりのりの花のさく宿...の娑婆世界のこと。  
 常なき風...、風が花を散らすように、衆生の命を吹まぐれに奪い  
 去ること。  
 法華經比喩品第三  
 「三摩は安き事なり、猶火宅の如し、衆生先備して、甚だ怖畏すべ  
 し、字には生老病死の憂きあり」  
 法華經如来非量品  
 「我が国土は安穩にして、天人常に充滿せり」  
 開導日願聖人御指南  
 「信心決定ノ人老字を恐れず、生きの邊の修行也と決定して、  
 さて世にあるがまにくし行する人は生死ニ恐れなし」  
 結語 明日知れぬ我が身の上だからこそ、いまでもる。奉公はしらか  
 りとさせていただき、「法のお計らいで、毎日が安穩に暮らせるよう  
 精進させていただきます。」

御導師の御法門

ご奉公者の皆さん

